



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月5日

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 コード番号 3315 URL <https://www.n-coke.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿毛 和哉

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 山下 伸一

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	48,518	17.9	6,113	310.2	5,886	404.7	3,959	601.5
2021年3月期第2四半期	41,162	26.7	1,490		1,166		564	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 3,958百万円 (473.2%) 2021年3月期第2四半期 690百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	13.61	
2021年3月期第2四半期	1.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	105,811	53,900	50.9
2021年3月期	102,151	51,106	50.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 53,900百万円 2021年3月期 51,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		4.00	4.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	40.0	11,200	60.0	10,700	65.8	6,500	63.8	22.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年11月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	302,349,449 株	2021年3月期	302,349,449 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	11,321,327 株	2021年3月期	11,320,765 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	291,028,512 株	2021年3月期2Q	291,029,571 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況におかれています。ワクチン接種の促進などにより、持ち直しの動きが続いていますが、引き続き感染症の動向による内外経済への影響には十分に注意する必要があります。

当社グループとしては、今後の国内外の感染症の動向は不透明であり、先行きの見通せない状況で推移しているものの、その影響は限定的であると考えております。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べ原料炭市況およびコークス製品市況の上昇などがあり、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比73億5千5百万円増加の485億1千8百万円となりました。利益面では、前述の市況上昇の影響や利幅の拡大などがあり、連結営業利益は、前年同期比46億2千3百万円増加の61億1千3百万円、連結経常利益は、前年同期比47億1千9百万円増加の58億8千6百万円となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前述の理由などにより、前年同期比億33億9千5百万円増加の39億5千9百万円となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、売上高は、前述の理由などにより、前年同期比53億9千9百万円増加の314億2千6百万円、営業利益は、前年同期比44億8千3百万円増加の52億6千8百万円となりました。

燃料・資源リサイクル事業につきましては、売上高は、前年同期比26億1千5百万円増加の122億1千5百万円、営業利益は、前年同期比5億3千万円増加の12億3千9百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比3億4千2百万円減少の31億9千万円、営業利益は、前年同期比2億6千4百万円減少の2億9千5百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比3億1千7百万円減少の16億8千5百万円、営業利益は、前年同期比1千7百万円減少の1億3千1百万円となりました。

なお、当社グループは、燃料の販売から石炭灰等のリサイクル処理までを一貫して扱う当社ビジネスの特色を活かすため、会社組織の変更を実施しており、これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち「燃料販売事業」と、「総合エンジニアリング事業」に含まれていた「資源リサイクル事業」を統合し、「燃料・資源リサイクル事業」としております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,058億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億5千9百万円増加となりました。増減の主なものは、原材料及び貯蔵品の増加55億6千8百万円、商品及び製品の増加33億8千3百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少36億9千7百万円、機械装置及び運搬具の減少17億9千2百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、519億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ8億6千5百万円増加となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加64億3千3百万円、長期借入金の減少35億1百万円、流動負債「その他」の減少23億4千4百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ、27億9千4百万円増加の539億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、今回修正しております。詳細につきましては、本日(2021年11月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,713	5,793
受取手形及び売掛金	9,599	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	5,901
商品及び製品	7,340	10,724
仕掛品	1,066	1,378
原材料及び貯蔵品	7,808	13,376
その他	606	758
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	32,102	37,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,316	23,406
減価償却累計額	△15,352	△15,673
建物及び構築物(純額)	7,963	7,732
機械装置及び運搬具	94,097	94,684
減価償却累計額	△72,496	△74,876
機械装置及び運搬具(純額)	21,600	19,808
土地	34,377	34,335
建設仮勘定	329	247
その他	1,901	1,940
減価償却累計額	△1,261	△1,300
その他(純額)	640	640
有形固定資産合計	64,911	62,764
無形固定資産		
その他	380	441
無形固定資産合計	380	441
投資その他の資産		
投資有価証券	863	846
繰延税金資産	2,747	2,741
その他	1,155	1,125
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,756	4,703
固定資産合計	70,048	67,909
資産合計	102,151	105,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,901	17,335
短期借入金	7,029	7,010
未払法人税等	1,556	1,954
賞与引当金	820	855
関係会社整理損失引当金	342	350
受注損失引当金	7	10
その他	6,736	4,391
流動負債合計	27,393	31,906
固定負債		
長期借入金	16,059	12,558
退職給付に係る負債	3,092	3,036
役員退職慰労引当金	59	45
環境対策引当金	3,341	3,341
関係会社整理損失引当金	53	36
その他	1,045	986
固定負債合計	23,651	20,004
負債合計	51,045	51,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	43,549	46,345
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	51,090	53,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183	170
退職給付に係る調整累計額	△167	△155
その他の包括利益累計額合計	15	14
純資産合計	51,106	53,900
負債純資産合計	102,151	105,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	41,162	48,518
売上原価	36,896	39,548
売上総利益	4,266	8,969
販売費及び一般管理費	2,776	2,856
営業利益	1,490	6,113
営業外収益		
保険差益	0	37
その他	42	60
営業外収益合計	42	97
営業外費用		
支払利息	150	114
環境対策引当金繰入額	97	107
その他	118	102
営業外費用合計	366	324
経常利益	1,166	5,886
特別利益		
固定資産売却益	28	63
その他	0	—
特別利益合計	29	63
特別損失		
固定資産除却損	411	226
その他	138	10
特別損失合計	550	236
税金等調整前四半期純利益	645	5,712
法人税、住民税及び事業税	53	1,747
法人税等調整額	26	5
法人税等合計	80	1,752
四半期純利益	564	3,959
親会社株主に帰属する四半期純利益	564	3,959

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	564	3,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	△12
退職給付に係る調整額	12	11
その他の包括利益合計	126	△1
四半期包括利益	690	3,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	690	3,958
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による、各報告セグメントにおける主な状況につきましては、以下の通りです。

(1) コークス事業

コークス製品の納入時点等で履行義務が充足されたと判断し、その時点において収益を認識しております。

(2) 燃料・資源リサイクル事業

石炭製品の納入時点等で履行義務が充足されたと判断し、その時点において収益を認識しております。

石炭灰等の処理に関する仲介取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当連結会計年度より、収益認識基準における「代理人取引」に該当するものとして、売上と売上原価および販売直接費を相殺して表示することとしております。

(3) 総合エンジニアリング事業

従来、工事契約に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、当連結会計年度より、少額且つごく短期的な工事については、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識し、その他の工事については、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識しております。

(4) その他

運輸荷役事業における代理人取引による収益について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当連結会計年度より、収益認識基準における「代理人取引」に該当するものとして、売上と売上原価を相殺して表示することとしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10億4千3百万円減少し、売上原価は9億8百万円減少し、販売直接費は1億3千4百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替は行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定めたる新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	26,026	9,600	3,532	39,159	2,002	41,162	—	41,162
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	661	664	130	794	△794	—
計	26,026	9,603	4,193	39,824	2,133	41,957	△794	41,162
セグメント利益	785	708	559	2,052	148	2,201	△710	1,490

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△710百万円は、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△726百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	31,426	12,215	3,190	46,832	1,685	48,518	—	48,518
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	6	714	721	197	918	△918	—
計	31,426	12,222	3,904	47,553	1,883	49,437	△918	48,518
セグメント利益	5,268	1,239	295	6,802	131	6,933	△820	6,113

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△820百万円は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△831百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

1. 報告セグメントの変更

当社グループは、燃料の販売から石炭灰等のリサイクル処理までを一貫して扱う当社ビジネスの特色を活かすため、会社組織の変更を実施しており、これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち「燃料販売事業」と、「総合エンジニアリング事業」に含まれていた「資源リサイクル事業」を統合し、「燃料・資源リサイクル事業」としております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものであります。

2. 収益認識に関する会計基準等の適用

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益または損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「燃料・資源リサイクル事業」の売上高が692百万円減少し、「その他」の売上高が351百万円減少しております。